

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。 Email : hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp

「共感」

子どもは不安や恐れ感情をもっている、自分の言葉で表現できないことがたくさんあります。

そんな時、元気がない、顔色がすぐれない、食欲が落ちている、すぐに興奮して大声を出す、落ち着かない、はしゃぎ過ぎる、黙りこむなど様々なサインを送っていることがあります。

親がこのサインに気づき対応する時、子どもの感情を吐き出させることより、励ましたり、同情したり、ごまかしたりする傾向があるとされます。

子どもが「怖くて一人で眠れない」と不安のサインを言葉にしたときに、こんな対応をしていませんか？

- ①命令・指示・・・いいから、早く寝なさい
- ②提案・忠告・・・本を読んでみたら？
- ③ほめる・同意・・・あなたは強い子だね
- ④分析・解釈・・・テレビが見たいからでしょう？
- ⑤脅迫・注意・・・寝不足になると、明日遊べないよ
- ⑥理屈・講義・・・眠れないと思うから、眠れない
- ⑦ばかにする・・・小学生なのに、赤ちゃんみたい
- ⑧尋問・質問攻め・・・なんで？どうして？また？
- ⑨説教・訓戒・・・お兄ちゃんは一人で寝るべき！
- ⑩非難・批判・・・お姉ちゃんのくせに！ダメね！
- ⑪同情・激励・・・かわいそうに、頑張れ
- ⑫ごまかし・・・ミルク飲もう

このような対応を「お決まりの12の型」と言い、子どもは、親の対応から話す気をなくしたり、自尊心を傷つけられたり、自分を理解してくれないなどと心を閉ざしたりするようになります。

どういった対応が望ましいのでしょうか？

～受動的な聞き方・能動的な聞き方～

会話というのは、キャッチボールをするように続かなくては面白くありません。そのためには、聞き方にコツがいります。

聞くという行為は口を使うのではなく、耳を使います。子どもの話を聞くためには、親は黙る・あいづちをうつ・もっと話してと誘いかけることができます。この聞き方を「**受動的な聞き方**」と言います。

もう一つの聞き方は「**能動的な聞き方**」と言い、まさにキャッチボールをする聞き方です。子どもが「怖い」と言ったら親は「怖いんだね」とくり返す。相手の言ったことを「くり返す」「言いかえる」「**気持ちにくむ**」という三つ聞き方で、言いたいことを理解し、確認する聞き方です。

左の例でいうと、子どもが「怖くて一人で眠れない」と言ったら

「怖くて一人で眠れないのね」くり返す

「怖いからそばにいて欲しいのね」言いかえる

「一人でいると不安になるんだね」気持ちをくむ

このようなやりとりで、子どもは自分自身で考え問題を解決する糸口を見つけやすくなります。

聞き手として大切なことは、まず共感することです。自分が子どもの立場だったらこういう気持ちになるだろうという感じ方ができることが共感です。

子どもの気持ちを理解し、子どもの力を信じて、寄り添うことが大切です。

そして、そばにすることが実感できるようにスキンシップも大切にしてほしいと思います。



管内中学校新人体育大会ダイジェスト（笛吹・東山梨）

10月3・6日（東山梨）、10・13日（笛吹）、峡東管内の各会場において中学校新人体育大会が実施されました。3年生が引退し初めての公式試合となりました。まずは、1勝、そして県大会出場、優勝を目指し、各種目で熱戦が繰り広げられました。

笛吹

（各種目 優勝校）

野球	石和中
サッカー	一宮中
ソフトボール	石和中
バスケットボール	
	男子 石和中
	女子 石和中
バレーボール	男子 御坂中
	女子 石和中

ソフトテニス	男子	石和中
	女子	浅川中
卓球	男子	春日居中
	女子	石和中
剣道	男子	石和中
	女子	一宮中
柔道	男子	石和中A
	女子	浅川中



弓道	男子	石和中B
	女子	石和中A
体操	個人総合	三枝 ゆい（石和中）

東山梨

（各種目 優勝校）

野球	Aパート	塩山中
	Bパート	塩山北中
サッカー		勝沼中
ソフトボール		塩山北中
バスケットボール		
	男子	山梨北中
	女子	山梨北中
バレーボール	男子	山梨北中
	女子	山梨南中
ハンドボール	男子	塩山中
	女子	山梨北中

ソフトテニス	男子	塩山中
	女子	笛川中
卓球	男子	山梨北中
	女子	山梨南中
剣道	男子	勝沼中
	女子	塩山中
柔道	男子	塩山中
	女子	塩山中
バトミントン個人		
	男子	古屋 聖(勝沼中)
	女子	内田 有香(勝沼中)



やまなし子育て応援ネットワークはぴはぴ 峡東ブロック交流会

10月25日（木）ウィングス石和において、やまなし子育て応援ネットワークはぴはぴ 峡東ブロック交流会が実施されました。

子育て支援センター、保育士、病児・病後児保育室、アトピー子育て支援者、助産師会など、様々な方面で子育て支援に携わっている方々が集いました。



日頃の活動内容や悩みを話す中で、お互いの情報を交換することができました。今回のブロック交流会は、地域で子育て支援に携わる方々のネットワーク強化のためにも、有意義な会となりました。

しなやかな心の育成プロジェクト

家読(うちどく)をはじめましょう！



県教育委員会では、「しなやかな心の育成プロジェクト」を推進しています。

その一環として、社会教育課では、「心をはぐくむ『あいうえお』」(大人としての大切な心がけを表した標語)及び「家読(うちどく)」(家庭での家族間の読書)の普及・啓発に取り組んでいます。

子どもたちの「しなやかな心」をはぐくむために、地域のみんなが手をつなぎ子どもを見守りましょう。各家庭では、読書をきっかけに家族のコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」をはじめましょう。

※詳しくは、下記に御連絡いただくか、県のホームページから「しなやかな心」で検索していただき、内容を御覧ください。



プロジェクト推進の標語 飯野杏梨さん(竜王小学校)

てをつなぎ こころを ゆたかに しなやかに

4,610作品の応募の中から最優秀賞に選ばれました。



【連絡先】 山梨県教育庁社会教育課 成人・家庭教育担当

電話 055-223-1773(直通) FAX 055-223-1775

食育って何？

24時間営業の飲食店やコンビニが増え、いつでもどこでも食事ができるようになり、一汁三菜という日本人の食事スタイルが変わってきました。

「コショク」。親がいるのに子どもたちで食べる「子食」、一人食べる「孤食」、好きなものだけを食べる「個食」など…気になることばです。

「食」という漢字を分解してみたことありますか？

「人」に「良い」というふうに見えます。

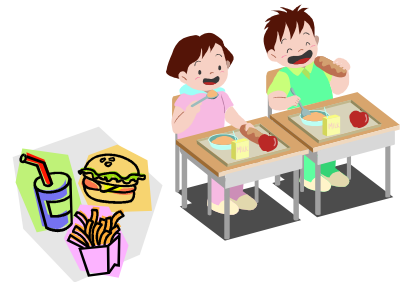
人に良いものが「食」で、人を良くすることができるのも「食」なのです。

これがまさに食育です。

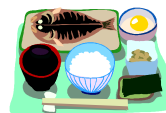
○ 食事は「人に良いこと・人をよくすること」

○ 食育は「人を良く育てる・人を良くするよう育む」

「食育」は子どもの頃から身体に良い食べ物を選ぶ目と好ましい食習慣と豊かな心を身につける教育です。



早寝早起き朝ごはん



1日の始まりは朝食からといえます。

目が覚めたとたん、いきなり布団から起き出してイキイキと1日が始められるという人もいますが、目覚めていても、しばらくはからだと頭が働かず、布団の中で何となくぼんやりという人もいます。睡眠中は体温が下がっているため、からだも脳も活動が低下しています。起き抜けにボーッとしてしまうのは、そのためです。

体温を上げてからだを、目覚めさせる必要があります。朝食は体温を上げるために最適な方法なのです。

「早寝早起き朝ごはん」の取り組みから、最近では朝食を取らずに登園・登校してくる子どもは減少しています。楽しみながら効果的な食事を心がけてみてはいかがでしょうか？



山梨児童センターまつり

山梨児童センター



山梨学院大学・短期大学生のパフォーマンス



「とことこ人形」制作中♪



どこまで積み上げられるかな？

山梨児童センターにおいて10月20日(土)に、恒例の児童センターまつりが開催されました。

このまつりは、児童センターを利用している子どもの親の会(母親クラブ)と社会福祉協議会、児童センター・学童クラブの各職員が、子どもたちのために年1回行うイベントです。

山梨学院大学・短期大学の学生さんによるダンスパフォーマンスでは、身近で見るダンスや大道芸に子どもたちは歓声や拍手で応えていました。

恒例のビンゴゲームでは、読み上げられる数字とカードののらめっこ。「リーチ」「ビンゴ」の声にエキサイトする子どももいました。また、スタンプカードを手に、輪投げや的当てといったゲームや「とことこ人形」という工作に挑戦しました。

子どもたちは母親クラブの作ったやきそばでお腹を満ちし、ヨーヨーつりをして、友だちと楽しい時間を過ごしました。

～はっけん！ドキドキ宝島～ 子どもフェスタ in やつしろ (10/28)

“子どもフェスタ 2012 ～はっけん！ドキドキ宝島～”は、御坂天雷太鼓 こども部の演奏からスタートしました。当日はあいにくの雨でしたが、会場の八代総合会館には大勢の子どもたちが集まりました。

今年は、テーマを「はっけん！！ドキドキ宝島」と設定し、海賊をイメージした会場やおばけ海賊船(おばけ屋敷)など、いろいろ工夫されていました。

また、世代間交流事業として、八代町の老人クラブ連合会、ボランティア連絡会、主任児童委員さんが、昔遊びやグランドゴルフのブースを担当し、子どもたちと遊びをとおして交流する場になりました。

その他、クレープ作りが楽しめるコーナーや似顔絵コーナー、ダンボールトンネル、ブックリサイクルなどたくさんのブースがありました。スタッフの方々の工夫を凝らした催しで、子どもたちの元気と地域の方々の温かさを感じる子どもフェスタでした。



御坂天雷太鼓



パネルシアター



クレープ作り



工作(バルーンアート)



スタンプ手形



グランドゴルフ



ダンボールトンネル



似顔絵コーナー

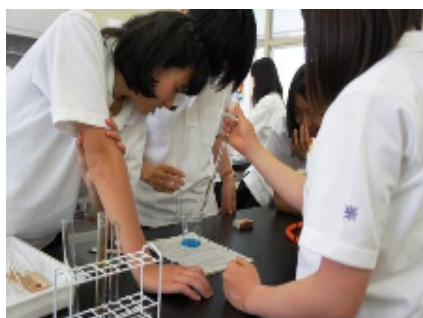
日川高等学校は スーパーサイエンスハイスクール（SSH）です

日川高校は平成24年度から5年間、文部科学省からSSHに指定されました。
今年度は、数学や理科が大好きな1年次生40名が、SSHコースで勉強に励んでいます。

日川高校のSSHでは、

◎大学進学や将来、大学・研究所等で研究をしていく上で必要な学力を育成します。

これまでの本校の理数教育のノウハウを活かした、「SS 数学」・「SS 化学」などの本校独自の理数系科目を学びます。



SS化学
(実験:銅を変化させる)



SS基礎・山梨を知る講演会
(ワイン・発酵学)



サイエンスラボ
(山梨大学訪問研修)

◎将来の科学者・技術者として国際的に活躍できる科学技術系人材を育成します。

「SS 基礎」や「SS 探究」等の科目において、各分野における専門家を講師として招き、山梨や日本の最先端の科学技術を学びます。また、外国人研究者による英語の授業により、生きた科学英語を学びます。さらに、夏休み等には、サイエンスツアー（研究施設の見学）やサイエンスラボ（研究機関での研修）などを実施します。将来的には、種子島・屋久島研修やNASA等の海外研修も検討中です。

◎SSH事業を基に、峡東地域の「知」の拠点校としての役割を果たしていきます。

サイエンスステップ・ジャンプ（小中学生対象の科学教室や出前授業）や、地域の皆さんを対象にしたサイエンスアカデミー（科学講演会）を実施することにより、地域の科学的リテラシーを高めていきます。



サイエンスツアー
(JAXA)



サイエンスジャンプ
(中学生対象科学教室)



サイエンスアカデミー
(茂木健一郎博士講演会)

☆子育て支援リーダー養成講座「地域交流会の報告」



峡東地域の子育て支援リーダー養成講座（県教育委員会社会教育課事業）受講生による、地域交流会を9月10日・13日・26日に実施しました。

受講生は、自分たちのスキルアップを目指し、それぞれの立場から、交流会を企画・運営しました。

「子どもが病気のときの食事」では、食育インストラクターを講師に招き、体調不良の時の栄養のある食事や離乳食の作り方の学習会。「昔話と絵本の魔力」では、藤巻愛子先生を講師に招き、甲州弁で昔話を語る技術講習会（絵本の持ち方や読み聞かせのポイントなど）。「みんな集まれ！！親子であそんじゃおう」では、未就学児の親子を対象に、リトミック（「リズム」をメインテーマとして、身体や心の動きと、音楽を結びつけ、感覚機能を磨く教育）や読み聞かせ、食育カップシアターなどを取り入れた広場を開催しました。

交流会終了後には、料理のレシピや効能を載せた冊子の作成、実施内容のアンケート集計など、自分たちの今後の活動につなげていくために工夫がされていました。

大事

藤巻愛子先生の甲州弁による語り



曲にあわせて、ワン・ツー・スリー



《放課後子ども教室指導者研修会（県教育委員会社会教育課事業）》

10月11日（木）、放課後子ども教室指導者研修会が行われました。この研修は、放課後や週末等における子どもたちの安心で豊かな体験を育む居場所づくりを目的とした「放課後子どもプラン」を充実したものにするため、それに関わる指導者等の資質の向上を目指すものです。

指導者のニーズに合わせ、夏季プログラムに関する研修、心理対応研修、レクリエーション研修、特別支援研修、防災に関する研修を行います。

今回は、講師に山本博之さん〔(財) 児童育成協会こどもの城〕を招き、「ごっこ遊び」の要素を取り入れた、ストーリー性のあるレクリエーションを学びました。

会場となった県立青少年センターの体育館には大勢の指導者が集まり、熱心にメモを取りながら山本先生の解説を聞いていました。その後、指導員役・子ども役にわかれて実践。ゲームを盛り上げる指導員役とゲームを楽しむ子ども役の声が会場に響き渡っていました。



参加者からは、子どもたちの心をつかみ、楽しい時間を創りだす方法や注意点を学ぶことができ、よかったという感想がありました。